

環境報告書 2014

天野エンザイム株式会社

2014.12 発行

本報告書はリサイクル PPC 用紙を使用しています。

I. 環境方針

私たちは酵素の可能性を追求し、新しい価値を創生することにより、社会に有益な事業を行います。自然との関わり大切さを認識し、環境への負荷を減らすことに努め、持続可能な社会の実現に向けて、環境保全活動を積極的に推進していきます。

1. 規制等の順守

地球環境を守るため環境に関する法規制及び地域との取り決めを順守します。

2. 環境負荷の低減

酵素の開発から製造、販売に至るまで業務の効率化を図り、環境負荷の低減に努めます。

- (1) エネルギーの節約
- (2) 廃棄物の削減、再資源化
- (3) 大気、排水水質の改善

3. 継続的改善

環境方針を達成するための具体的目標を設定し、環境保全活動を計画的に推進し、定期的にレビューしながらシステムの継続的な改善に努めます。

4. コミュニケーション

地球環境を守ることの大切さを認識し、地域社会との協調、融和に努めるべく緊密なコミュニケーションを保ってまいります。

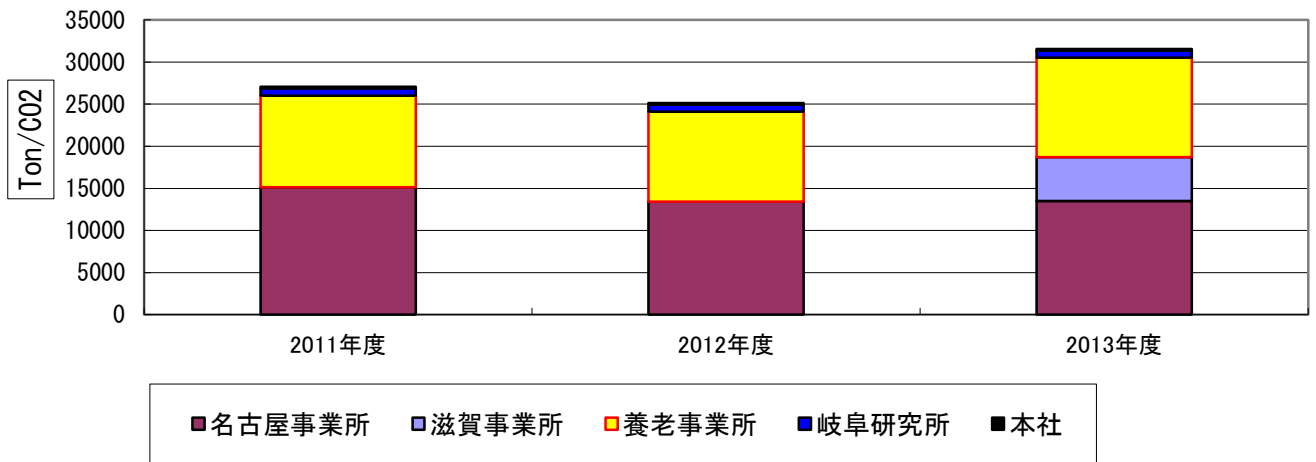
2014年4月1日

天野エンザイム株式会社 天野 源之

Ⅱ. 2013 年度 事業所内外の活動について

2013 年 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 事業所 2013 年度環境目的・目標を策定し、環境管理活動を開始した。 ・ 4 事業所 2012 年度法規制順守評価を実施し法令順守を確認した。 ・ 古紙（コピー用紙、雑古紙類）のリサイクル回収（第 23 回）を実施した。
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 事業所 環境影響評価、環境影響登録簿の見直し及び改訂を実施した。 ・ 北名古屋市「ごみゼロ運動」の代替工場周辺美化運動に 127 名参加した。
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 事業所 2012 年度 EMS 活動報告を EMS 委員会で報告した。 ・ 2012 年度 産業廃棄物処理報告書・計画書、特別管理産業廃棄物実績報告書、県外産業廃棄物搬入状況報告書等を官庁へ提出した。 ・ 湖南工業団地協会主催の茶釜川一斉清掃活動に参加した。
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内部環境監査を実施した。【2012 年度指摘事項は正の継続性、環境目標達成度、2013 年度進捗状況、法的要求事項の順守状況を主に監査】 ・ 7 月～8 月「省エネ提案キャンペーン」を全事業所対象に実施した。 省エネ提案の提出件数 127 件、削減電力量は約 130 千 kWh であった。
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境情報伝達手順書の見直し・改訂を行った。 ・ 事故、緊急事態対応模擬訓練を実施し、手順書の有効性を確認した。 ・ 2012 年度 大気汚染物質負荷量実態調査票を官庁へ提出した。
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 事業所 毒物、劇物の使用量調査と管理点検を実施した。 ・ 廃棄物処理場へ処理状況の立入り調査を実施した。
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISO14001 (JIS Q14001:2004) : 第 4 回更新後 第 2 回維持審査 (* 合体) を受審した。 〔日本化学キュー・I(株)〕 (* 滋賀事業所が加わったため合体審査となった。) 現地審査における観察点及びアドバイス内容について、5 事業所で水平展開した。 ・ 5 事業所 2013 年度上半期環境マネジメントプログラム実績報告書を作成した。 ・ 5 事業所 2013 年度上半期 法規制順守評価を実施し法令順守を確認した。
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古紙（コピー用紙、雑古紙類）のリサイクル回収（第 24 回）を実施した。 ・ 環境報告書 2013 作成、公開した。
12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISO14001 維持審査 (合体) の結果、12/9 J C Q A 登録委員会で適合した。 ・ 冬季の省エネルギー対策について (資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー政策課)、各事業所「職場、家庭での省エネルギー活動の推進」を呼び掛けた。 ・ 12 月～1 月廃棄物処理場へ処理状況の立入り調査を実施した。
2014 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天野エンザイム株式会社 2014 年度環境目的・目標を策定した。
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 事業所 (滋賀事業所含む) 2014 年度環境目的・目標、実施計画 (EMP) を策定した。
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 事業所 毒物、劇物の使用量調査と管理点検を実施した。 ・ 4 事業所 第 1 種指定化学物質の使用量調査と管理点検を実施した。
その他 5 事業所の主な活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域環境美化活動として事業所、岐阜研究所、本社周辺道路、側溝の美化活動を実施した。(1 回/月) ・ 事業所内の環境パトロール、臭気パトロールを実施した。(名古屋事業所、養老事業所) ・ 地域利害関係者との外部コミュニケーション : ①養老事業所の近隣地区への説明会開催 ②産業廃棄物排出計画の事前連絡の実施、③工事等 (臭気、騒音発生) の事前連絡の実施 ・ 各務小学校の資源回収に古新聞、不要書籍などの紙資源、ペットボトルキャップの寄付に協力した。 (岐阜研究所) ・ 近隣地区の保育園、小学校、まちづくり協議会の古紙回収に協力した。(養老事業所) 	

五事業所温室効果ガス（CO₂）排出量の推移



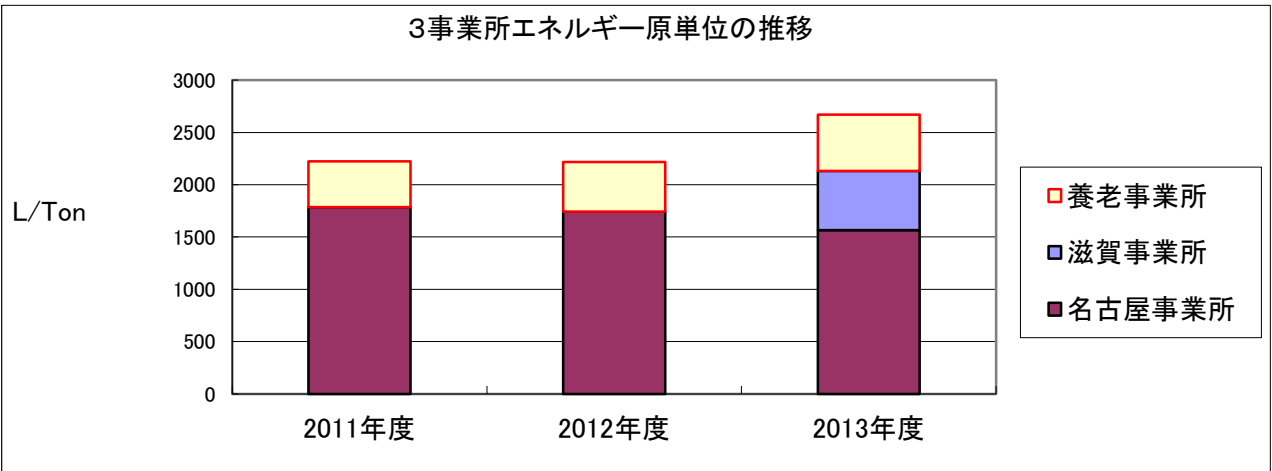
Ⅲ. 温室効果ガス（CO₂）排出量

	2011年度	2012年度	2013年度
名古屋事業所	15,122	13,414	13,499
滋賀事業所	—	—	5,213
養老事業所	10,897	10,792	11,820
岐阜研究所	846	849	826
本社	199	181	180
合計	27,064	25,136	31,538

※ 温室効果ガス（CO₂）排出係数〔2013年度 計算式〕

- ・ 電気：1 kWh × 0.373 kg CO₂/ kWh〔中部電力株〕、1 kWh × 0.475 kg CO₂/ kWh〔関西電力株〕
- ・ ガス：1 m³ × 2.296 kg CO₂/m³ (13A) ・ A重油：1 L × 2.710 kg CO₂/L

3事業所エネルギー原単位の推移



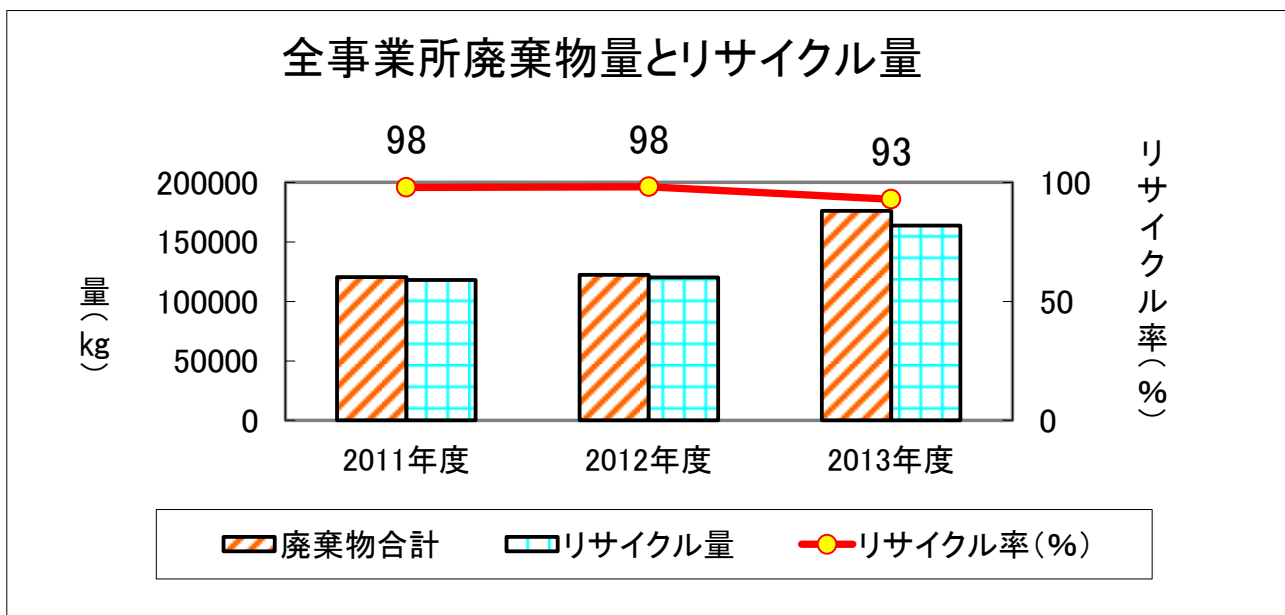
Ⅳ. エネルギー原単位について

3事業所		2011年	2012年	2013年
	電気	389	416	445
	ガス・重油	417	414	391
	計	806	830	836
	2010年度対比	88%	95%	96%

(単位：L/t)

* 天野エンザイムの原単位とは
原単位＝電気又はガス・重油の原油換算量 (L) / 仕込量(t)

V. 廃棄物量とリサイクル状況



全事業所廃棄物量の推移

(単位：kg)

	2011年度			2012年度			2013年度		
	廃棄物量	リサイクル量	リサイクル率	廃棄物量	リサイクル量	リサイクル率	廃棄物量	リサイクル量	リサイクル率
全事業所(合計)	120,379	117,946	98	122,308	120,023	98	176,146	163,697	93
2010年度比	89%	89%		91%	91%		131%	124%	

VI. 事業所の排水について

2013年度2事業所(名古屋事業所、養老事業所)の排水結果

	排出量	単位
放流水	902.3	千m ³ /年
特定排出水	645.4	千m ³ /年
特排COD負荷量	13.1	t/年
特排T-N負荷量	4.6	t/年
特排T-P負荷量	1.3	t/年

1. 放流水とは、特定排出水に間接冷却水を加えて、工場(事業所)より公共用水域(河川等)に排出される水
2. 特定排出水とは、廃水処理場にて処理した水
3. 特排COD負荷量とは、公共用水域に排出されたCOD量
4. 特排T-N負荷量とは、公共用水域に排出された窒素量
5. 特排T-P負荷量とは、公共用水域に排出されたりん量

VII. 環境会計について

環境経営を推進するにあたって、全事業所の環境施策に係る投資費用及び環境保全費は下記の通りです。 2003年度より環境会計を導入しました。

2011年度～2013年度 環境会計 報告書				
環境大分類名	環境小分類名	2011年度 税抜金額(千円)	2012年度 税抜金額(千円)	2013年度 税抜金額(千円)
1	公害防止	66,240	68,601	74,131
2	地球環境保全	0	0	39
3	資源循環	177,758	166,312	246,855
4	環境管理	32,052	32,135	41,288
5	その他	2,441	676	1,165
合計		278,491	267,724	363,478